

09 甌島の地層から 海生爬虫類の歯を発見!

下甌島の中生代白亜紀後期(約8千万年前)の地層から、海生ワニ類(国内で2例目)とモササウルス類の歯(九州で2例目)の化石が発見されました。海生ワニ類の歯は、長さ2.5cm、最大幅1.1cmで推定全長は3~4m。「海の王者」とも呼ばれるモササウルス類の歯は、長さ約1.2cm、最大幅約0.8cm、推定全長は2mといわれています。化石は甌ミュージアム恐竜化石等準備室にて一般公開中です。



2月13日、薩摩川内市生活研究グループ連絡協議会が、令和元年度地産地消等優良活動表彰(食品産業部門)で九州農政局長賞を受賞。これは、地域農産物を用いた加工品作り、郷土食の伝承、学校給食の食材としての提供など、地産地消の取り組みが評価されたものです。また、4月1日、市役所農政課内に「薩摩川内市農作業サポート人材バンク」を設置しました。求人者(農業者)と求職者(市民など)のマッチングを推進し、本市農業の維持・活性化の一役を担うもので、農家経営の安定や作業効率向上を図ります。



13 入来神舞が 県の無形民俗文化財指定に

入来町の伝統行事「入来神舞」が県の無形民俗文化財に指定され、6月5日、入来神舞保存会の是枝政文会長へ指定証書の伝達が行われました。入来神舞は、大宮神社の例祭(11月23日と大晦日)に五穀豊穡を願い、50年以上絶えず奉納され続けているもので、剣を持ち勇壮に舞うなどの特色があり、我が国の芸能史の解明に寄与する可能性のある貴重な文化財であるとの評価を受けました。



08 映画「大綱引の恋」 鹿児島先行公開

薩摩川内市をメインにロケ撮影が行われた、佐々部清監督、渾身のラブストーリー「大綱引の恋」が10月30日から鹿児島先行公開されました。31日には、川内文化ホールで特別上映会があり、舞台あいさつで、主演の三浦貴大さんはじめ、比嘉愛未さん、中村優一さん、西田聖志郎さん、升毅さんから5人が登壇し、映画公開の喜びなどを語りました。映画は5月から全国公開される予定です。



10 79年の時を経て 日章旗郷里に還る

本市中村町出身で、太平洋戦争時、出征地の硫黄島で戦死した岡元友義さん(当時27歳)の日章旗が同町在住の遺族、岡元由美子さんに返還されました。これは、友義さんが熊本の部隊召集時に、同町飯母集落の方たちが贈ったとされるもので、硫黄島で日章旗を拾った元アメリカ兵の息子が、太平洋戦争史研究家、ダニエル・キング氏に返還を依頼しました。旗に記載されている人名や部隊名、地名などから出身地や戦没者を特定し、現地で採取された「硫黄島の砂」と共に返還されました。



12 地域が育む 「かごしまの教育」県民週間 最優秀賞・学校賞を受賞

県教育委員会主催の、地域が育む「かごしまの教育」県民週間で公募された標語とポスター原画において、本市の東郷学園義務教育学校1年の東湊土さんの標語が最優秀賞、亀山小学校のポスター原画が学校賞をそれぞれ受賞しました。これは、県内の児童生徒から県民週間の趣旨を分かりやすく表現した、明るく活力ある標語、ポスター原画を募集し、県民週間を全県的な活動として推進・幅広く普及させるための取り組みです。

4月16日、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言の対象地域が全国に拡大され、本市内でも不要・不急の外出自粛や密集・密接を避け、手洗い・咳エチケットの励行を周知し、感染拡大防止策を一斉に取り組みました。3月から5月までの指定期間においては、子どもたちの健康・安全を第一に、市内小学校・中学校・義務教育学校の一斉臨時休業を行い、感染リスクに対処しました。7月には、臨時休業により各学校で実施できなかった学習の補充授業のため、夏季休業期間を活用した授業を実施しました。また、社会経済活動に著しい影響が及ぶ中、市内の中小企業、個人事業主を対象にさまざまな事業継続のための支援を行い、市内の消費喚起を促し景気回復を図るため、市独自のプレミアム付商品券事業を行いました。

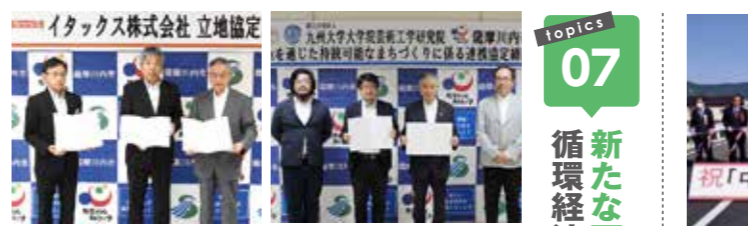


04 新型コロナウイルス 感染症対策 各分野での取り組み



7月3日、甌島で「50年に一度の記録的な大雨」が発生し、7月6日までの間、市内全域に渡って大雨に見舞われました。この大雨で百次川や勝目川が氾濫し、住宅や店舗などが浸水。市内各地では大きな被害が発生しました。また、本市消防局から1隊3人を熊本県へ派遣。県土砂風水害機動支援部隊の一員として、八代市で孤立者避難誘導活動を実施しました。9月に発生した台風10号は、今までに経験したことが無い記録的台風の予報が接近前から出され、市内避難所には早くから多くの方々が避難しました。各地で住宅損壊や停電などの被害があり、鹿島町では県道が崩落し配水管が折損し、鹿島地区の286世帯が断水に。長浜地区からの給水活動は通行止で不能となりましたが、甌大橋が開通したことで上甌島からの給水車派遣で迅速に給水することができました。橋を活用した非常時市民生活支援の第1号となりました。

05 記録的大雨7月豪雨災害 大型で非常に強い 台風10号が接近



入来工業団地に同団地2社目の企業の立地が決まり、8月に立地協定を締結しました(写真左)。また、現在、久見崎町で開発を進めている「川内港久見崎みらいゾーン」では、次世代の産業を担う新興企業や起業家を発掘する産業集積を目指し、10月に産業立地ビジョンを策定。9月には、九州大学大学院芸術工学研究院と連携協定を締結(写真右)。官学連携で研究および事業を行い、SDGsに基づいた先進的で持続可能な循環経済モデルの構築を行っていきます。将来に向けて新たな雇用を創出するため、今後も積極的な産業立地政策を推進します。

大小路地区引堤事業に合わせ、事業着手した都市計画道路「中郷五代線(延長1,100m)」が、約10年をかけて完成し、11月1日に開通しました。前日には交通安全祈願祭を実施し、安全祈願とテープカットで完成を祝いました。この河川拡幅に伴い、肥薩おれんじ鉄道橋梁の架け替え工事が97年ぶりに行われ、事前組み立ての75mトラス橋を移動して架け替える全国的にも珍しい工事も行われました。また、12月5日には、南九州西回り自動車道阿久根川内道路の早期開通を願い、水引小学校で、(仮称)湯田西方IC~薩摩川内水引ICの着工式が行われました。

06 道路インフラの整備進む 大小路地区引堤事業中郷五代線完成 南九州西回り自動車道阿久根川内道路着工式